

国内株式株主議決権行使ガイドライン（概要）

当社は、投資先企業に対する議決権の行使を企業価値向上のための重要な意思表示の手段と位置づけて「国内株式株主議決権行使ガイドライン」を定め、これに則り議決権を行使しています。

ただし、最終的な判断は、投資先企業の調査および対話の経緯等も踏まえた上で行っています。ガイドラインの概要は以下の通りです。

1. 取締役の選任

① 取締役の選任

原則として賛成します。ただし、以下の基準に該当する場合は原則として反対します。

反対基準		反対内容
反社会的行為	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政処分を科せられた法令違反 ・ 法人、代表者の刑事告訴 ・ 公序良俗に反する行為 等 （株主価値への影響や社会的影響の大きさを勘案）	取締役の再任 （社外取締役を含む）
業績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去3期および直近期予想 ROE が連続して6%未満 ・ 過去3期連続赤字決算 ・ 過去5期の通算当期利益のマイナス 	
取締役の員数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明確な理由がない増員（社外取締役を除く） ・ 総数20名以上 ・ 社外取締役の減員 ・ 独立した社外取締役が複数名選任されていない （親子上場企業においては、独立した社外取締役が複数名かつ取締役総数の1/3以上選任されていない） 	代表取締役の再任 （指名委員会等設置会社においては指名委員である取締役の再任、該当者の再任議案がない場合は取締役の再任）

② 社外取締役の選任

原則として賛成します。ただし、以下の基準に該当する場合は原則として反対します。

反対基準		
独立性	当該会社の関係先	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該会社、子会社の在職もしくは退職後10年以内の者 ・ その他関係先の在職もしくは退職後5年以内の者 その他関係先：①主要株主 ②当該企業と取引のある金融機関 ③主要な取引先（全取引額の2%以上、もしくは年間1,000万以上の寄付金）等
	当該会社における在任期間	・ 10年以上
監督機能	他社役員との兼任状況	・ 6社以上
	取締役会出席率	・ 75%未満

2. 監査役の選任

① 監査役の選任

原則として賛成します。ただし、以下の基準に該当する場合は原則として反対します。

反対基準		反対内容
反社会的行為	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政処分を科せられた法令違反 ・ 法人、代表者の刑事告訴 ・ 公序良俗に反する行為 等 (株主価値への影響や社会的影響の大きさを勘案)	監査役の再任 (社外監査役を含む)
監査役員の員数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明確な理由がない減員 	代表取締役の再任 (代表取締役の再任議案がない場合は取締役の再任、取締役の再任議案がない場合は監査役の再任)

② 社外監査役の選任

原則として賛成します。ただし、以下の基準に該当する場合は原則として反対します。

反対基準		
独立性	当該会社の関係先	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該会社、子会社の在職もしくは退職後 10 年以内の者 ・ その他関係先の在職もしくは退職後 5 年以内の者 その他関係先 : ①主要株主 ②当該企業と取引のある金融機関 ③主要な取引先 (全取引額の 2%以上、もしくは年間 1,000 万以上の寄付金) 等
	当該会社における在任期間	・ 10 年以上
監督機能	他社役員との兼任状況	・ 6 社以上
	取締役会、監査役会出席率	・ 各々 75% 未満

3. 取締役・監査役の報酬額・役員賞与

原則として賛成します。ただし、以下の基準に該当する場合は原則として反対します。

反対基準		反対内容
反社会的行為	<ul style="list-style-type: none"> ・行政処分を科せられた法令違反 ・法人、代表者の刑事告訴 ・公序良俗に反する行為 等 (株主価値への影響や社会的影響の大きさを勘案)	報酬額の増額および役員賞与の支給
業績	<ul style="list-style-type: none"> ・過去3期および直近期予想 ROE が連続して6%未満 ・過去3期連続赤字決算 ・過去5期の通算当期利益のマイナス 	

4. 退職慰労金等

原則として賛成します。ただし、以下の基準に該当する場合は原則として反対します。

反対基準	
支給対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・社外取締役、監査委員もしくは監査等委員である取締役、監査役
反社会的行為	<ul style="list-style-type: none"> ・行政処分を科せられた法令違反 ・法人、代表者の刑事告訴 ・公序良俗に反する行為 等 (株主価値への影響や社会的影響の大きさを勘案)
業績	<ul style="list-style-type: none"> ・過去3期および直近期予想 ROE が連続して6%未満 ・過去3期連続赤字決算 ・過去5期の通算当期利益のマイナス

5. ストックオプション、株式報酬等

原則として賛成します。ただし、以下の基準に該当する場合は原則として反対します。

	反対基準	
	通常のストックオプション	株式報酬型ストックオプション
権利付与対象者	・ 社外取締役、監査委員もしくは監査等委員である取締役、監査役	
希薄化	・ 権利行使により取得される株数が発行済株式数の5%超 ・ 発行済ストックオプションも合わせた潜在的希薄化率10%超	
発行済ストックオプション	・ 未行使分の行使価格の引下げ	—
権利行使価格	・ 市場価格未満	—
行使条件	—	・ 行使条件（一定の業績の達成）の設定がなく、かつ行使期間（付与から3年未満、もしくは役員退職前の禁止）の設定がない

※譲渡制限付株式報酬、信託型株式報酬については、株式報酬型ストックオプションの基準に準じます。

6. 剰余金の処分

原則として賛成します。ただし、以下の基準に該当する場合は原則として反対します。

反対基準	
配当性向	・ 配当性向が15%以下、または100%以上
内部留保・配当性向	・ 株主資本に対するネットキャッシュ（現金同等物－負債）比率50%以上、かつ配当性向30%以下
内部留保・ROE・配当性向	・ 株主資本に対するネットキャッシュ比率25%以上で、過去3期および直近期予想ROEが連続して6%未満、かつ配当性向30%以下
業績	・ 3期連続赤字決算で有配、または直近決算が赤字で増配

※取締役会決議もしくは無配当のため株主総会に提出されない剰余金処分案が上記の基準に該当する場合は、取締役の再任議案に反対します。

7. 買収防衛策

以下を全て満たす場合を除き、原則として反対します。

賛成基準	
合理性	・株主価値向上につながる合理的な説明がなされている
業績	・過去3期および直近期予想 ROE が連続して6%未満ではない
発動要件 の客観性	第三者委員会 ・委員全員の独立性が確保されている (独立性については、1-②「社外取締役の選任」の反対基準に準ずる)
	取締役会 ・第三者委員会の判断に従う場合は、独立した社外取締役が複数名 ・第三者委員会の判断を尊重し取締役会が最終判断する場合は、独立した社外取締役が複数名かつ取締役総数の1/3以上
有効期限	・3年以内に限定されている

※議案として株主総会に提出されない買収防衛策が上記の基準を満たさない場合は、取締役の再任議案に反対します。

8. その他定款変更

原則として賛成します。ただし、以下の基準に該当する場合は原則として反対します。

反対基準	
授権資本の増加	・株主利益に反するもの
新種の株式の発行	・普通株への転換価格が時価より低く、株式の希薄化率が高い ・複数の議決権を有するような株式の発行
取締役の任期	・任期の長期化
取締役・執行役員・監査役・ 会計監査人の責任の有限化	・会計監査人の責任の有限化
特別決議に関する定足数	・妥当な理由がない緩和
剰余金処分の取締役会決議 への変更	・過去の剰余金処分に問題がある (6.「剰余金の処分」の反対基準に準ずる) ・取締役会に独立した社外取締役が複数名選任されていない ・配当の株主提案権が排除されている

9. その他

次の議案については原則として賛成します。ただし、以下のケースに該当する場合は個別に精査します。

議案	個別に精査するケース
会計監査人の選定	<ul style="list-style-type: none">・会計方針に関する見解の相違による監査法人の変更・株主利益を十分に反映しえない選定
自社株取得・償却	<ul style="list-style-type: none">・財務状況に問題がある・取得規模が流動性等に悪影響を与える可能性がある・他の株主の不利益となると判断できる相応の理由がある
合併・事業譲渡	<ul style="list-style-type: none">・合併比率、譲渡価格について、中立的な第三者による算定根拠が示されていない・資産の取引価格などの重要な情報が正しく開示されていない・取引仲介業者等に株主との利益相反が生じる懸念がある・株主価値を毀損すると判断できる相応の理由がある

上記以外の議案については、株主利益に反しないか等を基準に、個別に判断します。

10. 株主提案

株主価値の増大に寄与するかどうかを基準に、個別に判断します。

以上